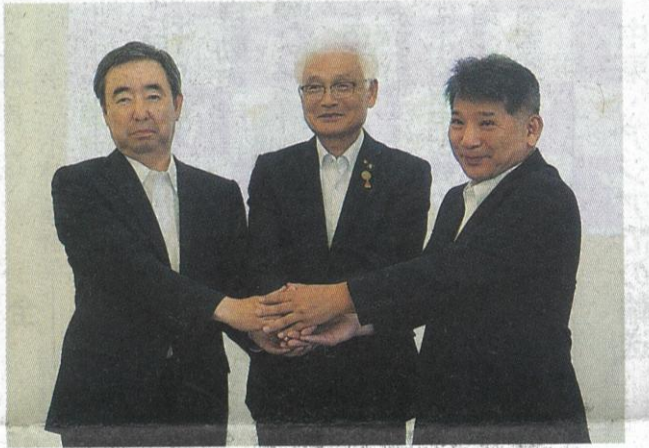


2026年7月7日掲載 輸送経済新聞

第一貨物×東北西濃

山形・尾花沢市と協定 災害時の物資円滑供給

第一貨物（本社・山形市、越智史朗社長）と東北西濃運輸（本社・岩手県奥州市、阿部進太郎社長）は2日、山形県尾花



市民の安全・安心に向けた協定は平時の物流維持も見据える（左から越智社長、結城市長、阿部社長）

沢市と災害時の物資の受け入れと輸送に関する協定を締結した。

災害発生時に同市の要する資機材、救援物資の輸

送を行う。2社が持つ物流網や資源を活用し、迅速・効率的な物資供給体制の構築を進める。

同市は中山間地域に位置し、2020年7月豪雨、24年7月豪雨、今年1～2月の豪雪など、自然災害による被害が相次いでいる。尾花沢市役所で開かれた協定締結式で結城裕市長は「市民が安全に安心して暮らせるよう、本協定が災害時の物資供給をより一層円滑にするものと期待している」とコメントした。

越智社長は「物資を迅速に届けることは当社の重要な使命。地域の防災力向上に貢献していく」と意義を強調した。災害

時には、第一貨物の天童支店（山形県天童市）を市外からの物資供給のハブ拠点とする計画。

（矢田 健一郎）